

組合員の皆さまへ

資格変動の届出のお願い

JAの構成員である組合員の皆さまには、組合員資格の変動等があった時にはその旨をお届けいただくことになっています。

下記の項目に該当する場合には組合員資格が変動もしくは喪失している可能性がありますので、確認のため、お手数ですが最寄りの支所までご連絡をお願いいたします。

- 正組合員の方で、次のいずれにも当てはまる場合。
 - ① 耕作する土地が3アールより少なくなった。
 - ② 農業従事日数が年間90日より少なくなった。
- 准組合員の方で、住所が地区外(高知県外)で勤務地が地区内にあるが、信用事業(貯金・貸付)、共済事業、購買事業のいずれも利用しなくなった。
- 准組合員の方で、住所および勤務地が地区外(高知県外)にあるが、購買事業、販売・加工・倉庫事業、特定農地貸付事業のいずれも利用しなくなった。
- 団体の正組合員で、農業経営を行わなくなった。
- 団体の准組合員で、主たる構成員や出資者が農業者でなくなった。
- 家族の中で、正組合員・准組合員の方が死亡されている。

※JA高知県の「地区」は、高知県全域になっています。

イチゴ「おおきみ」 東京市場で商談会

幡多地区中村支所おおきみ部会は12月5日、東京市場を訪れ商談会を実施しました。イチゴ「おおきみ」は大玉で香り高く糖度も高いのが特徴。高付加価値販売を実現させ、国内の百貨店だけでなく輸出(東南アジアなど6カ国)し販路を開拓。商談会には東京シティ青果(株)ら3社などが参加しました。取引先からの評価も良く、輸出先拡大のため出荷量増加の要望がありました。

同部会からは、資材高騰の影響に配慮した価格交渉や新たな輸出先の拡充、PR力を高めようと刷新したチラシやポスターの活用などを要請しました。



輸出先拡大などを要請する生産者ら

2月
2025年

JA健康寿命100歳プロジェクト ～薬剤師のワンポイントアドバイス～

入浴中の事故に注意しましょう!

こうぐりをご覧のみなさん、いかがお過ごしでしょうか？

今頃のような寒い季節に気をつけたいことのひとつに「ヒートショック」があるかと思います。

ヒートショックとは、室温等の急激な変化によって血圧の大きな変動が起こり、これによって生じる意識障害などのことをいいます。

特に浴室内で起こることが多く、浴槽で溺れ最悪の場合には死亡に至ることもあります。予防するためには、

- 1.入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく
- 2.湯温は41℃以下、お湯につかる時間は10分までを目安にする
- 3.浴槽から急に立ち上がらない
- 4.食後すぐの入浴や飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける
- 5.お風呂に入る前に、同居する家族にひと声かける
- 6.家族は入浴中の高齢者の動向に注意するなどを心がけましょう。

みなさんが健やかな毎日を過ごせますように。

薬剤師 矢嶋 幸一 (メディカル調剤株式会社)

政府広報オンラインより



<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/202111/1.html>より

四万十地区より



女性部窪川支部 恒例の花の寄せ植え

12月20日、農協会館ロビーで女性部窪川支部が花の寄せ植えを行いました。

1人1つの鉢へ複数の花などを配置、バランスを考えながら作っていました。毎年開催しているので、皆さん慣れた手つきでスムーズにでき上がり、予定していた時間の1時間前には作り終えていました。花の種類、色、配置を自由に組み合わせ、1人ひとり個性があり素敵な鉢ができました。寄せ植え後は、みなでお茶をしながら楽しくお話をして令和6年の活動を締めくくりました。



高西 地区から こんにちは

四万十地区より

JA高知県四万十地区 家の光大会を開催!

12月3日、四万十農協会館で「JA高知県四万十地区家の光大会」が開催されました。90人以上の女性部員が参加。会場内には、えこてえぶ手芸教室や絵画教室などの作品が華やかに展示されました。家の光記事活用体操では音楽に合わせて参加者みんなで和気あいあいと体を動かしました。今年、大野見在住ギターデュオ「ふるふる」さんによる公演があり、聴き入ってしまう場面や懐かしい曲と一緒に歌ったりと盛り上がりました。

フラダンス同好会や民謡教室、大野見支部による踊りの披露や恒例のお楽しみ抽選会も行われました。

終始みなさん笑顔で楽しい会となりました。今年もこのような会を開催していきたいです。



津野山地区より



ママ大好き モカちゃん

梶原町のモカちゃんはお目目がくりくりで可愛いトイプードルの女の子！大人しいけど、すごく甘えん坊でちょっぴり寂しがりやさん。可愛いお洋服はご家族の方が準備し、毎日大好きなお散歩へ出かけています！これからも一家のアイドルでいてね。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



生徒代表7人が掘り取りを行っています。

1 四万十地域 四万十生姜研究会 「コンテナショウガ収穫」in大阪

四万十生姜研究会は、大阪市内の小学校で5月に植付を行ったコンテナショウガの収穫を12月3日に行いました。

対象の2年生は約100人と人数が多いため、代表7人が掘り取りを行い、他の児童は代表児童を応援する収穫体験となりました。児童はもちろん初めての収穫であり、掘り上げたショウガが土から顔を出すと、「〇〇君すこいー」や「ショウガや！」などと驚きと喜びの声があがりました。その後、種ショウガと新ショウガの計量を行うと、新ショウガの重量が種ショウガを下回り、収穫量が土から顔を

回るものもあり、児童はショウガ栽培の難しさを感じた様子でした。また、生産者への質問コーナーの時間では、「農家さんの作るショウガは何kgくらいですか？」との質問に対し、「4kgを超える大きなショウガも出来ます！」と返答すると、「えー！すこいー」と全児童が口を揃え、大変盛り上がる授業となりました。

四万十管内では毎年行うコンテナショウガ授業ですが、食育の一環として、またショウガの消費拡大のため、今後も全国で継続して行っていく予定です。



受賞者の皆さまおめでとうございます。

2 津野山地域 第60回高知県茶品評会表彰式



最優秀賞にて表彰される黒川満洋さん

12月21日高知市のJAビルで、第60回高知県茶品評会の表彰式が開催されました。

津野山茶生産組合では7月に仁淀川町で行われた品評会に荒茶を出品。県内各地から出品された32点の中から、本年度受賞7点のうち最優秀賞「高知県知事賞」を含む上位に5点が受賞しました。これは熱心に取り組まれた日々の栽培管理や茶工場での製造技術の高さが今回の受賞につながったことと思います。

当日の表彰式には入賞された生産者が出席し各賞の表彰を受けました。入賞された生産者の皆さま、誠におめでとうございます。

受賞された生産者の方は左記のとおりです。

最優秀賞 高知県知事賞 黒川満洋
優秀賞 高知県農協組合中央会長賞 久川和彦
優秀賞 高知県農業協同組合賞 野村益運
優良賞 王佐茶振興協議会長賞 今橋勝征
優良賞 王佐茶振興協議会長賞 村田耕一

3 四万十地域 新番組 「三山ひろしのあぐりの応援歌」放送開始！



皆さんぜひご覧ください！

JAグループ高知が企画する新番組「三山ひろしのあぐりの応援歌」が始まりました。三山さんと生産者との交流などを通じ、地元の農産物の消費拡大につながるよう農業の魅力を伝える企画です。高西地区からは特産のニラを紹介するため、10月5日に四万十ニラ部会の会長、中野佳二さんのほ場で撮影を行いました。三山さんにはニラの収穫や、ニラを使った料理「ニラ豚」と「ニラの白和え」を食べていただきました。放送時間は「令和7年3月11日(火)21:45」再放送「令和7年3月16日(日)8:25」。放送後はJAグループ高知のYouTubeチャンネルにアップされます。

4 津野山地域 行事を彩る花木 出荷してます



東で出荷されるアジサイ

年が明け、津野山地域では冬から春の出荷物として花木の受入と出荷が始まりました。

アジサイ・ハナニズキ・ハナモモ・サクラの出荷が2月中旬まで予定されています。出荷時期の調整が難しいため、生産者から持ち込まれた花木類は温室ハウスで保温管理し、蕾の膨らみなどを確かめながら生育具合を調整していきます。これらの花木は主に関西方面へ出荷されます。卒業式・ひなまつり・生け花などでの利用が見込まれ、さまざまな節目のイベントに色どりを添えます。これから春を迎えようとする季節に、花や芽吹きで日本らしさを表現する癒しとなることでしょう。

5 四万十地域 四万十ミョウガ部会 京浜市場視察



ミョウガ産地として消費地での情報収集の取り組みを積極的に行います。

12月2日・3日、四万十ミョウガ部会は、京浜市場の東京シティ青果(株)・東京新宿ベジフル(株)・横浜丸中青果(株)・東京多摩青果(株)へそれぞれ表敬訪問を行い、生産者6人が参加しました。

現地では、東京青果(株)と荏原青果(株)を加えた京浜市場担当者との消費地会議を開催し、産地の天候不順等による生産環境の厳しさや、それに伴った消費地での動向について協議され、有意義な情報交換と連携強化につながりました。

6 津野山地域 各生産部会の出荷反省会



これからの取り組みにつなげていきます。

12月中旬より津野山経済課にて甘とう、ミョウガ、ナス各生産部会の出荷反省会を行いました。今作は春先からの暖かい日が続き、出だしは良かったものの夏場7月以降の高温や長雨による生育不良と病害虫の発生で出荷量にも大きな影響が出た年となりました。会では須崎農業振興センターより実証試験結果報告や今作の振り返り等の説明後、個々の良かった点や悪かった点など、生産者同士の意見が飛び交い、次作への検討など情報共有を行いました。

特別栽培米と一緒に作ってみませんか

JA高知県四万十エコ栽培米生産部会では、14人の部会員が、国の定める特別栽培米の基準に沿って「にこまる」^{だっきょう}を栽培しています。なかでも、部会で定めた高い品質基準をクリアしたものを、「厳選米」として県外の100社近い米穀店へ販売し、大変好評を頂いています。

また部会では、厳選米の中から毎年数点を県外のお米コンテストに出品しており、令和5年には「お米日本一コンテストinしずおか」において、四万十町本在家の武吉孝夫氏が全510点の中からベスト12位に選ばれ**金賞を受賞**しました。

なお、特別栽培米生産ガイドラインおよび部会の定める要件に沿うため、栽培には慣行米と比べて手間が掛かりますので、通常の買取価格に奨励金（6年度実績：最大1,000円）を加算してお支払いいたします。



少しでも興味がある方は下記までご連絡をお願いします！！

私たちと**日本一おいしいお米**を目指して一緒に栽培しませんか。



連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 販売課 安岡・山本 (TEL.0880-22-3586)

カントリーエレベーター利用者を募集します

四万十カントリーエレベーター（以下、CE）は、県内唯一のお米の乾燥・貯蔵・調製施設として、30年以上地域の皆様とともに歩んできました。

CEをご利用いただくと、自宅での乾燥調整作業が削減できることと下記のように経費を低減できるメリットがあります。利用に興味のある方は詳しい説明を行いますので、下記までお問い合わせをお願いします。

受入対象 四万十町窪川地域の台地部の圃場で生産した下記品種

受入品種 あきたこまち・とよめき・ヒノヒカリ・にこまる



【参考経費】経営規模1ヘクタール・玄米反収420kg・生糶水分24% / 乾燥機1台・糶摺機1式12年償却と仮定
CE利用：約18万円+CEまでのガソリン代 / 自家乾燥・調整：約34万円

連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 販売課 (TEL.0880-22-3586)



四万十地域より

枝豆栽培始めませんか?



管内の枝豆栽培は・・・

平成27年から枝豆プロジェクトとして取り組みがスタート。栽培品種や出荷時期など栽培技術の研究を進め、平成28年には研究会組織として発足。その後脱莢機^{だっきょう}の導入など、出荷調整作業の効率化にも取り組み、産地化を進めています。

JA高知県四万十枝豆研究会では「湯あがり娘」という茶豆風味の品種を主力に量販店との契約出荷を行っています。風味豊かな食味が大変好評で消費者の皆さんからも喜んでいただいています。ぜひ、一緒に枝豆栽培に取り組んでみませんか?

共同機械「脱莢機」の利用

以前は枝豆の莢を1つ1つ手作業でちぎっていましたが、機械の導入で脱莢作業の大幅な省力化を図っています。



興味がある方は下記連絡先までご連絡ください！！

連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 森本 (TEL.0880-22-5179)

「青色申告」に取り組みませんか

～説明会のご案内～

「青色申告」は、日々の取引を記帳し帳簿に基づいて正しい申告をすることで、税金の面でさまざまな特典を受けることができる大変おすすめの制度です。

また、新しく導入された収入保険制度においても、青色申告を行っている事が加入条件とされています。**なお、青色申告を開始される方は、令和7年3月15日までに税務署への申請書提出が必要となります。**

下記の日程で青色申告について説明会を開催しますので、希望される方は参加をお願いします。

日時 令和7年2月25日（火）13時～15時

場所 高西営農経済センター 2階 大会議室



※予約制となっておりますので、ご希望される方は下記連絡先まで事前にご連絡をお願い致します。

連絡先

JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 河野 (TEL.0880-22-5179)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

冬風の日の出おろがむ旅半ば
馴染たる景色安けし山眠る

市川 和美

農道を黄金にそめし銀杏の葉
冬空をふたつに分けし飛機の雲

田中 信子

昭和びと甘藷味たふ時来たり
柚子採りに猫の手としてまぎれおり

今橋 孝子

手の平に餌付けせし鳥冬うらら
年の順叶わぬ訃報初しぐれ

長谷部 延子

今年米作りし寿司の旨しかな
十一月の命日寺詣り

竹内 春猪

短歌

窪川短歌教室

川の瀬にじっと立ちいる白き鷺瞬時に背を刺しこみいれぬ

宮崎 英雄

よきことのあるとき花の咲くという吉祥草の紫あわし

市川 隆子

藁葺きは銅板屋根に替えたれど茶堂守りゆく奥土佐の郷

市川 浩子

タイムカプセル開けたようなり五十年昔の部活仲間と会えば

竹田 和子

種を蒔く手を止めし人の土の香に暮らしのグチをしゃべりすぎたり

黒岩 やよゑ

生姜畑の茎切る音に負けぬほど喋って笑う我らおばさん

中内 佐登美

年末も世界の不穏続きたりイスラエル、シリア、韓国さえも

北村 さち子

三つ四つ土つき生姜をもらいたりピンクの髷のひよこのかたち

文野 見枝子



組合員の皆様へ



JA 葬祭 ルミエール四万十

* 紙上終活セミナー①-2 *

おひとりさまの終活①-2

●おひとりさまのリスクと対策●



- ・孤独死して誰にも気づいてもらえない
- ・財産の相続が自分の希望と異なったものになってしまう
- ・自分の死亡、または認知機能の低下によって親族や家主など周囲の人に迷惑をかけてしまう

などのリスクが考えられます。

それを防ぐには次のような方法があります（一例）。

- ・宅配サービスや訪問看護などの訪問サービスを利用する
- ・遠隔地に住む親族に安否を伝えられる見守り家電を利用する
- ・地域イベントなどに参加して地域の人たちと関わりを持つ

●チェックしておきたい5つのポイント●



- ①エンディングノートを作成する
- ②死後事務委任契約を結ぶ
- ③任意後見契約を結ぶ
- ④財産管理等委任契約を結ぶ
- ⑤遺言書を作成する



周囲の人に迷惑をかけないようにするには、お元気なうちに「エンディングノート」を書くなどして、自分の想いを第三者に知らせておくことから始めてみましょう。

墓じまい・葬儀などお金が発生する部分もありますが、計画的に進めるためにもまずご自分の想いを「エンディングノート」に書くことで、現在の自分を知ることが大切です。

※「エンディングノート」「事前相談」「終活」「ご葬儀」に関するお問い合わせ

JA 葬祭 ルミエール四万十 (0880) 22-5900